

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連  (中国)		競艇場（職員）	販売量の動き	・5月中旬に開催したG1競争の売上が本場のみならず、電話投票と協力他場でも伸びている。
		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	単価の動き	・高付加価値商品が売れるようになってきている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は継続して前年を上回っている。前月まで低迷していた紳士婦人衣料が回復傾向にあり、売上を押し上げている。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・ファッションを中心に売上が前年実績を確保できている。月半ばには連日気温が30度を超えるなど早い夏の訪れで需要が回復しつつある。インバウンド客が増えており、100万円以上の化粧品のまとめ買いがあるなど、売上につながっている。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・数か月前と比べて婦人服中心にファッションアイテムは改善の兆しがあるものの、好調であった食料品関連が厳しい状況になりつつある。来客数は前年より少し増えている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・3か月前と比較して販売量、来客数共に良くなっている。売が悪かった5月の連休後は前年より天候条件が良く、来客数が伸びている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客単価の伸びは鈍化傾向が続いているが、来客数の伸びは継続している。
		コンビニ（副地域ブロック長）	単価の動き	・客の買上点数の増加がみられる。特に惣菜やファーストフードなど、夕食にもう一品添えるような商品の売上が顕著に伸びている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が増えている。
		家電量販店（企画担当）	単価の動き	・来客数は減少しているが客単価は高いので景気は良い。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・修学旅行生を含め、来客数が増加している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客単価は減少傾向であるが、来客数の増加が売上増加の要因になっている。特に外食ではグループやファミリーでの来客数が増加傾向である。
		一般レストラン（外食事業担当）	単価の動き	・競合店の増加で平日は客が分散化しているが、店が増えたことで週末のエリア内の集客は順調である。3～4月に引き続き、転勤や進学の関係で予約が好調に推移している。食べ放題の注文が増え、客単価は前年の105%で、売上増加と来客数減少をカバーしている。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・好調なゴールデンウィークであったものの、その後はやや落ち込みも見られる。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・桜シーズンに伴うインバウンド団体の宿泊受注は前年並みに推移したが、前年のディスティネーションキャンペーン開催の反動で国内客数は減少している。ゴールデンウィークの宿泊とレストランの状況は前半苦戦したものの、後半で需要が伸びて売上は前年並みとなっている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・ゴールデンウィークは忙しくなかったが、前年の売上をクリアしている。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の様子から景気は上向いている。
		テーマパーク（営業担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの曜日の並びが良く、天候にも恵まれたので入園者数が前年比で増加している。また、大型クルーズ船のツアー入園もあり、外国人入園者数も大幅に増加している。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・冬の閑散期に比べ、学校行事やツアーなど団体利用を中心に来客数が増えている。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・見学会等のイベントの参加者が増加しており、契約にこぎつける見込み客が増えている。
	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・新年度がスタートし、官庁からの発注も出始めて同業者の仕事量が増えている。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・海外からの客が駅前に泊まっているが、隣接する商店街で見かけることはなく、来客数増につながっていない。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・新しい大型施設と駅の再開等による客の分散化に伴い、商店街での購買は厳しい状況である。ただ一部の店舗ではリニューアルにより売上が伸びている。	

商店街（理事）	お客様の様子	・4月以降、公共料金の値上げなどで客の生活防衛意識が高まっている。景気が良くなる気配はなく、客は買い控えの傾向である。
商店街（代表者）	お客様の様子	・買い控え傾向の客が多い。
一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・地元の若い世代の買物客が定着してきている。
一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・曜日の並びによってゴールデンウィークが長くなり、今月の前半は売上が落ちたが、後半は落ち着いている。
一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・新茶の取れる時期が遅くなり、販売が今ごろになって盛んになってきた。しかし、数年前の忙しさと比べると大変低調である。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・化粧品や連休中の物産展は好調であったが、衣料品と高額品は不調で、全体では前年売上をやや下回っている。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年同様ゴールデンウィークは衣料品が厳しい状況であったが、気温が上がり始めた下旬には動きが盛り返している。初夏向けのカジュアル商品が動き始めて前年売上と予算をクリアしている。
百貨店（人事担当）	単価の動き	・買上客数の落ち込みはないが、買上点数と客単価の減少がみられる。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィークは天候が良く集客は順調であったが、その後の母の日は食事や花といった低単価な贈り物の需要が高まり、高額品の動きが鈍くなっている。無料の駐車場やキッズスペースもある近隣の大型ショッピングモールに客がかなり流れるとともに、例年にも増して衣料品関係の動きが鈍く、売上が落ち込んでいる。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・人間国宝の美術工芸品が数点売れたので売上は好調である。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・衣料品の動きがいきなり夏物需要へ移行し、ジャケットが売れずにUV系の羽織やTシャツなど単価が低い方へ流れている。婦人衣料全体としては売上の前年割れが続いている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数、客単価、買上点数に変化はない。
スーパー（店長）	それ以外	・今年はラッキョウやウメの不作で季節商材の動きが悪い。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数、客単価共に横ばい状態である。
スーパー（管理担当）	来客数の動き	・来客数、客単価共に大きな変動はなく、客の節約志向も依然続いている。
スーパー（業務開発担当）	競争相手の様子	・近隣にディスカウント店がオープンし、既存の競合店との競争も激化しているものの、対策が功を奏しているのか客足が遠のく様子はない。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・販売点数は減少傾向にあるものの、客単価は上昇してきている。経済格差というほどではないが、消費に積極的な客と消極的な客との両極に分かれており、特に若い世代に出費を抑える傾向が強い。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・今年のゴールデンウィークの傾向として、ガソリンの価格高騰でファミリー層が減少し、シニア層の行楽需要が増えている。
コンビニ（支店長）	来客数の動き	・来客数、客単価共に悪くはなく、3か月前と比較して変化はない。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新車やCDを思うように買えない、ビールを発泡酒に切替えたなど、客からは景気の悪い話を聞かない。
衣料品専門店（店長）	単価の動き	・来客数は増えているが、客単価は前年をクリアできていない。
家電量販店（店長）	お客様の様子	・客は本当に必要な商品しか購入しない。
家電量販店（店長）	競争相手の様子	・相変わらず原価とほぼ同等もしくは下回った競合他社からの見積書を持参する客が多い。
乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題があった前年ではなく前々年と比較すると、販売量は101%でほぼ同じ状況である。
乗用車販売店（店長）	単価の動き	・販売量が少なく、高額車両も全く売れず、収益計画の50%にしか満たない。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・当業界では値上げ前の駆け込み需要があるため、今月は例年同様に売上が伸びている。

その他専門店 [時計](経営者)	販売量の動き	・来客数に変化はないが、販売量が減少している一方で、修理などのサービス客数に変化はない。
その他専門店 [土産物](店長)	来客数の動き	・ゴールデンウィーク期間中は客の動きが非常に良かったが、その後は悪くなっている。客単価も幾分低下しており、連休で出費した反動が見受けられる一方で、当地域産のバナナなど話題の商品はよく売れている。
その他小売 [ショッピングセンター](管理担当)	お客様の様子	・近隣に大型テナントが出店したことで、平日の来客数が減少している。土日の来客は引き続き好調であるが、高単価商材の買上比率が低下している。
高級レストラン (宴会サービス担当)	来客数の動き	・週末の来客数は前年同様まずまずであるが、平日は閑散とした日もあって、前年より悪い。
スナック(経営者)	来客数の動き	・観光客は増加しているが夜の人出が少なくなっており、にぎわっている店はあるが、全体としては悪い状態が続いている。
都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・歓送迎会シーズンが終わり、客単価や来客数は落ち着いており、例年どおりの動きである。
都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・宿泊では国内外共にインターネット予約の個人客が増え、国内旅行会社からの販売価格も上昇している。しかし、その一方レストランでは高単価の店舗への来客数が低調となっている。
都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・宿泊客数は前年並みに推移している。
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・景気に変化はなく、客の様子からも良い状況にはない。
旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・団体、個人共に旅行取扱数は前年を割っており厳しい状況が続いている。
通信会社(企画担当)	お客様の様子	・仮想移動体通信事業者としての格安スマートフォンサービスは、通話定額のメニュー化の反響が予想どおりであり、イベント等での集客や販売動向が良くなりそうではあるものの、目立った変化になるまでには至っていない。
テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・入館者数や商品販売高が前年同月と変わらない。
ゴルフ場(営業担当)	来客数の動き	・天候に左右されるシーズンに入り、例年と比べると来客数は若干少なくなっている。
美容室(経営者)	お客様の様子	・今年に入ってから客の財布のひもはずっと固いままで、節約志向は続いている。
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・新築住宅を希望するクライアントからの引き合いが少ない。
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・消費者の節約ムードに変化はない。
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・土地の販売が停滞しており、それに引きずられるように戸建て注文住宅の受注も伸び悩んでいる。
商店街(代表者)	来客数の動き	・例年ゴールデンウィークが終われば客足は遠のくが、今年は特に地元客にその傾向が強く、観光客の財布のひもも固い。
一般小売店[食品] (経営者)	単価の動き	・今月は来客数、客単価、売上全てが前年を下回る結果となっている。
スーパー(店長)	来客数の動き	・12月から来客数が前年を下回る状況が続いており、5月は前年の97%である。
スーパー(店長)	お客様の様子	・客の購入点数の伸び悩みが続いており、必要不可欠な物以外への支出を抑えている状況がうかがえる。
スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数が減少し、ゴールデンウィークや母の日などの季節催事で苦戦している。
スーパー(財務担当)	単価の動き	・ゴールデンウィーク明けから野菜の相場安が売上に響く一方、鮮魚のアニサキスによる被害に関する報道の影響で、来客数が前年を割り、客の節約志向で1品単価も前年を下回っている。
衣料品専門店 (経営者)	それ以外	・大きな問屋が倒産し、景気は悪い。
乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・来客数の減少は気にならない程度であるが、販売台数は前月から落ち込んだままである。
乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・3か月前と比較して契約件数が減少している。
乗用車販売店 (営業担当)	お客様の様子	・客は必要な物しか購入しない。

	住関連専門店 (営業担当)	来客数の動き	・ゴールデンウィーク中に年間最大のイベントを行ったので、現在は客がほとんど来ない。
	その他専門店 [布地](経営者)	お客様の様子	・早目に夏物の売り出しを始めているが、客は買い控えている様子である。
	その他小売 [ショッピングセンター](所長)	来客数の動き	・現在はテナントの入替え段階であり、空き区画が営業面積の10%を占めているため来客数と売上に影響している。
	一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・人の動きはあるが、客単価が低く売上が伸びない。
	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・4月下旬に郊外型のショッピングセンターができた影響が大きく、来客数が減ってきている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・ゴールデンウィークの売上が悪く、その後も客は節約をしているようで夜の利用客が少ない。
	通信会社(広報担当)	お客様の様子	・客は、価格でのみ判断し、より安い物を求める傾向にあるため、景気が上向いているとはいえない。
	通信会社(総務担当)	販売量の動き	・年度変わりには新規契約件数が増加するが、今月に入って通常の契約件数に戻っている。
	美容室(経営者)	それ以外	・駅前に大型店舗ができたので人の流れが変化し、当商店街は集客に苦しんでいる。
	住宅販売会社 (営業担当)	来客数の動き	・5月に入って気温の上昇とともに、客からの問い合わせと来場者数が減少している。
	× 商店街(代表者)	単価の動き	・デフレに歯止めがかからず、客は良い品をより安く購入することを徹底している。
	× スーパー(店長)	販売量の動き	・近隣の自社店舗2店がリニューアルした影響を受け、来客数と買上点数が減少しており、特に一般食品、菓子、果実などの販売量が減少し、特売頻度の高いペットボトル飲料やボトル珈琲などの買上点数もかなり減少している。
企業 動向 関連  (中国)	輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・地元大手自動車メーカーの部品製造を行っており、生産が好調である。
	化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車の国内生産量の増加に比例し、当該部品を生産している主要取引先からの受注量が増加基調にあり、来月以降も前年同月を上回る受注が期待できる。
	鉄鋼業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・エレクトロニクス市場、産業機材市場、工具鋼市場共に受注旺盛で繁忙な状況である。
	一般機械器具製造業 (経理財務担当)	受注量や販売量の動き	・前年同期に比べ販売量が増加傾向にある。
	輸送用機械器具 製造業(財務担当)	取引先の様子	・国内造船所の手持ち工事量の減少や、船価の低迷はあるものの、海運各社の業績改善やばら積み船の新造船価格の底打ち観測を背景に、徐々に新造船の受注が出始めている。
	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注の引き合いが増えてきている。
	通信業(営業企画担当)	競争相手の様子	・競合他社で全国的に新しいデータセンターの新築と増築の話題があり、また、アウトソーシングに関するセキュリティや運用サービスのニーズも高まっている。
	金融業(貸付担当)	取引先の様子	・輸出高は前年比で4か月のプラスで、半導体や自動車等が増加要因となっている。
	食料品製造業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・取引先スーパーでは前年より2~3%売上が落ちており、当社への注文数量が減少して厳しい状況である。
	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・夏商戦を前に売上は良くない。
	木材木製品製造業 (経理担当)	受注価格や販売価格の動き	・新設住宅着工戸数が横ばいで、大きな景気の変化はない。北朝鮮問題もあるものの、低金利政策も一巡して安定しており、市場は落ち着いている。
	化学工業(総務担当)	それ以外	・全般的に出荷は好調であるが、企業の業績を底上げするほどではない。
	窯業・土石製品 製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・大型注文の製造着手前で生産量は少ないものの、一定水準の生産量は維持している。
	鉄鋼業(総務担当)	取引先の様子	・3月以前の仮需の反動で、前月に引き続き各社荷動きは低調が継続している。
	非鉄金属製造業 (業務担当)	受注量や販売量の動き	・一部の電子材料向け製品の販売量は好調に推移しているが、水準は3か月前と大きく変化はない。

	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今年に入ってから受注量は生産能力の70%にとどまっている。
	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・主要客からの受注量は良い水準を保っているが、内示からは減少傾向となっている。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・大型物件が好調に受注できており、引き続き予定物件で技術職の稼働が目一杯の状況が継続している。
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・個人発送は前年並みの個数である一方、大口客に関しては単価交渉をしたところ契約解除が発生している。
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・一般個人事業主や中小企業向けの通信機器販売量が新年度早々から軒並み前年割れとなっており、年度末の駆け込み需要による反動も要因となっている。
	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・系列自動車メーカーの新型スポーツ用多目的車の販売が好調なので、地元部品メーカーの受注は高水準を維持している。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量に大きな変動がなく、客は夏に向けて販売促進拡大の準備をしているので現状で大きな進捗がない。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・ゴールデンウィークでレジャー飲食関連はまずまずの数字を残しており、売上高も前年を上回っているところもある一方で、製造業や建設業がやや苦戦している。
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・最近の商品は材料原価が高く工程が複雑であるが、売価は国内景気に左右されるため工場出荷単価はそれほど上げられないのが現状であり、利益率は非常に厳しい。
	輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内倉庫の荷動きが鈍く、輸出入貨物の取扱も鈍化している。
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数、成約件数が減少している。
	× 農林水産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・アニサキスが全国ニュースで報道されて以降、刺身の需要が激減してしまい単価がかなり低下していることに加え、全国的にマダイなどの水揚量が潤沢で、それも単価安に拍車をかけている。
	× 一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量の動きが悪い。
雇用 関連  (中国)	-	-	-
	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・新規求人は幅広い業種から確保できており、過去最高水準で推移している。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・有効求人数は前月に比べやや下降したものの、企業の採用意欲は落ち込むことなく、有効求人倍率は1.71倍と全国トップレベルの水準を保ったまま推移している。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人はタブレットやモニター機器の組立製造が好調な製造業やショッピングモールへの新規出店が相次ぐ小売業など、多くの業種で増加傾向となり、求人全体でも前年比で1割増となっている。
	職業安定所（雇用開発担当）	周辺企業の様子	・4月のデータでは前年同月比で新規求人数が減少する一方で、新規求職者数が増加し求職者数超過の状況にあるが、企業担当者からは人手不足の話ばかりなので、雇用情勢は良い。
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・顕在化している求人案件以外にも潜在的案件が多数存在している。有能な人材であれば都度検討のうえ、ビジネス拡大の足掛かりを模索する経営者が増えており、またその意思決定も早い。
	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・人材不足なのは変わらないが、前年から決まらない求人がいまだに募集をしている状況で、新規求人が増えているわけではない。
	人材派遣会社（経営企画担当）	求人数の動き	・派遣業界では求人が落ち着く時期であるため、今後は求人から求職者を紹介する動きから求職者を積極的に紹介する動きに切替え、企業提案を積極的に行っていく。
	求人情報誌制作会社（営業担当）	求職者数の動き	・景気全体が高位で安定しており、その結果新卒学生の内定率も前年同月より10%上回る状況が続いている。

	求人情報誌製作会社（広告担当）	採用者数の動き	・4月の学生の活動状況は約80%が一次面接を受験、35%が最終面接を受験して選考段階に入っている状況である。内々定をもらい、その企業のインターンシップに参加している学生は40%を超えるとともに、インターンシップで内々定先企業を発見した学生は27%と高い割合であり、採用者数も全体的に増やしている企業が多く見受けられる。ただし、当県に限るとそれほど景気が良いとはいえない。
	職業安定所（産業雇用情報担当）	周辺企業の様子	・大規模小売店舗出店計画書を管内に提出している事業所がある一方、建物の老朽化や営業不振で事業を廃止するところもあるなど、景気の良し悪しはどちらもいえない。
	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	周辺企業の様子	・仕事があっても人が足りない企業が多いが、性別や年齢等の法的制限が足かせになっている。
	学校〔大学〕（就職支援担当）	周辺企業の様子	・企業の採用活動状況は3か月前に想定した範囲内で、劇的に採用数を増減させた企業は見受けられない。
	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・求人数と求人内容に特に大きな変化はない。
	-	-	-
x	-	-	-